

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			常勤1名、非常勤4名、保育士1名、児童指導員等常駐している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		階段やトイレなどは滑り止めや、補助装具を付けている。子供たちに譲り合いや、危険な場所を自分で気づかせるためにあえて、バリアフリーにはせず生活するようにしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		職員間で話し合いや、会議を定期的に行い業務改善に努めている。常勤が外出することもあり話し合いの場が少ないため、話し合いの時間を多くとるように改善していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			外部評価やアンケートを用いて、利用者（保護者）のニーズや意見を挙げていただき、職員間で話しあい課題を明確にし、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後、第三者委員を通し、意見交換を行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1.2回業務関係、利用者支援についてなどの研修をZOOMなどで行い能力向上に努めている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に1度親御さんとモニタリングを行ったうえで、職員間で会議をして、個別支援計画の作成をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			保護者面談やヒアリングを行い、定期的に個別支援計画を見直し、作成している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			子どもたちの特徴を見て、何が得意なのか、興味があるのかを把握したうえで、職員間で話し合い、成長に合わせたプログラムを考え
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの特徴等を把握したうえでレベルに合わせて取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は創作活動、身体運動など行っている。長期休みは外出活動や、イベント、調理活動、公園などいろいろな経験が出来るよう
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			気分の乗らない子、騒がしい子が苦手な子、集団が苦手な子に合わせて、部屋を分けたりして個別での活動を行ったり、集団で出来る遊びなど状況に合わせて活動を考え計画している。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		常勤が不在の時間が多く、打ち合わせが出来ない時がある為、定期的に会議を設けて話し合う時間を設けたり、チェックシートを作成して、それぞれの役割などを決めてみんなで把握できるようにしている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員同士で危険だったこと、注意すること、声掛けの仕方、支援について職員間で共有し円滑に進むように問題を改善しながら行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳や業務日誌、日報に子供たちの様子や気づいた点があれば記録をつけて改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			1年に1度視察やモニタリングを行い、計画書の作成をしている。また、親御さんに確認してもらい改善点がある場合は見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			日頃子供たちと関わっている児童指導員や、保育士、実務経験のある職員が会議に参加している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		子校の職員と情報共有をしながらか適切に行動するように努めているが、状況によっては話し合いが出来ていないので改善していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			1年に1度アセスメントシートに病院の名前
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		状況によっては連携の取れていないことがあるが、なるべく電話や直接情報を共有するようにしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	学校を卒業した者がいないため連携は取れていないが、今後卒業する者がいる為、今年から連携をとっていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		常勤は事業所内で勉強会や研修会に参加をしているが、非常勤が日頃現場を見ているため出来ていないので、改善に努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	コロナウイルス感染対策の為、外出活動や交流の場は控えるようにしているが、zoomなどを使って今後は交流を図るなどしていきた行なっていない為今後は、越谷市福祉協議会ボランティアセンターからのボランティアの受け入れを行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の申し送りの際や、連絡帳に特記事項を記載して、家庭や学校での様子、事業所での活動の様子の情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		必要に応じて保護者には情報提供や助言などを行っているがペアレント・トレーニングまではできていないため、今後の課題として研修などを行い支援に努める
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		面談や契約の際に説明をしている。状況によっては出来ていないこともある為改善していく	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎の際に子供たちの様子や状況を聞きとりし、応えている。また、職員間で話し合い親御さんに適切な助言をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			当法人主催の研修会を開催している。今後も保護者同士の連携を支援できるよう取り組みを行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当と解決責任者を重要事項説明書に記載をしている。苦情が発生した際は職員間で原因を分析し改善と今後の防止策を考え、迅速に対応できるよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に会報やHP上で活動の様子を掲載している。また、お誕生日カードを用意して活動写真などを用意している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きロッカーに個別ファイルを保管して個人情報に漏れがないようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		利用児や保護者が受け止めやすいよう、伝え方に配慮を行い、送迎時での直接的な申し送りが難しい状況の時は電話で伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			イベント活動で近所の方に協力していただいたり、定期的に挨拶をして地域活動に参加している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		定期的に研修を設けて職員間で共有している。保護者での周知が出来ていないため今後は時間を設けて対応していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			半年に1度利用児と一緒に消防訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修会も設けて情報共有している。また、虐待防止マニュアルを見て日頃から職員間で確認しあう。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			虐待防止マニュアルを室内に掲示し、職員に喚起している。 保護者に対しては個別支援計画にその旨を記載し了承を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの申告のみである為、今後必要に応じて指示書の提出をお願いしていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			利用者別にヒヤリハットを記録している法人内会議で他事業所との情報共有を行っている。